

文部科学省科学技術試験研究委託事業  
「数学アドバンストイノベーションプラットフォーム」  
(AIMaP: Advanced Innovation powered by Mathematics Platform)  
2019年度AIMaP集会等審査基準(案)

運営委員会申し合わせ

本委託事業において実施する集会等については、本基準に則り、運営委員の中から選定された審査委員が事前審査を行い、その結果を踏まえ運営委員会において審議し決定するものとする。ただし、当該年度審査委員が必要と判断する場合(※)はこの限りではない。

(1) 審査の対象

公募で受け付けた集会等であって以下の3条件を満たしているものを審査の対象とする。

① 開催時期および開催場所

2020年3月末日までに国内において開催するものであること。

② 主催機関

主催機関は、以下のいずれかの機関又は部局であること。なお、複数の機関・部局による主催も可能とする。

- ・ 国公立大学
- ・ 大学共同利用機関
- ・ 国公立試験研究機関
- ・ 独立行政法人
- ・ 日本学術会議に登録された学協会
- ・ 民間企業
- ・ 以上の機関の部局(附置研究所、研究科、専攻、研究部会、民間企業の研究所・センターや事業部等)

③ 運営責任者

運営責任者は、主催機関に所属する者であって、開催する集会等の企画及び運営全般を、AIMaP事務局との連絡調整も含め、責任をもって遂行できる者であること。なお、複数名とすることも可能とする。

④ 主催機関の承諾

主催機関(複数の場合はすべての主催機関)の承諾が得られている、もしくは得られる予定であること。

※補足

上記(※)において「当該年度審査委員が必要と判断する場合」とは、例えば、公募期間終了前に集会等を開催する場合、公募期間終了後に集会等が企画される場合、その他緊急に対応する必要がある場合等を想定している。

(2) 評定要素

以下の評定要素を趣旨・目的（①）、企画内容（②、③、④）、予算（⑤、⑥）の3グループに分け、そのそれぞれについて4段階で評価する。

趣旨・目的	<p>① 趣旨・目的</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 本委託事業における集会等の公募の趣旨に沿った提案をしているか。</li><li>・ 提案された集会等の目的が明確か。</li></ul> <p>注) 支援を行う研究集会等の分野は特に限定しませんが、以下の AIMaP 重点連携分野を踏まえてご評価ください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>－ AI・データ駆動型科学の限界突破と活用範囲の拡大</li><li>－ 古典・量子計算の効率化・品質保証</li><li>－ 人間がかかわるシステムの最適な設計・制御</li><li>－ ライフサイエンス分野等におけるビッグデータからの有用な情報の抽出</li><li>－ 物質・材料科学における新材料開発の飛躍的効率化</li><li>－ セキュリティ・セーフティの確保・保証</li></ul>
企画内容	<p>② プログラム、取り扱うテーマ・トピックや解決すべき課題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 提案された集会等のプログラムが、当該集会等の目的を達成する上で適切なものになっているか。例えば、以下のような視点を踏まえたプログラムとなっているか。</li></ul> <p>(視点の例)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 数学・数理科学の専門家以外の者に対して、数学・数理科学的アプローチの有用性や効果を示すようなものとなっているか。</li><li>・ 取り扱うテーマやトピックが、諸科学や産業が抱える課題を念頭に置いたものとなっているか。</li><li>・ 課題の解決に有効と考えられる数学・数理科学的アプローチが示されているか。</li><li>・ 数学・数理科学研究者と諸科学・産業との連携に取り組む組織や個人にとって有益な情報を提供するものになっているか。</li></ul> <p>③ これまでの準備状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ これまでに本集会等の開催に向けて諸科学・産業の関係者との間で検討が行われてきたなど、十分な準備のもとでの提案になっているか。</li></ul> <p>④ 終了後のフォローアップの計画</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 本集会等の終了後のフォローアップについて検討されているか。</li><li>● 諸科学・産業の関係者との交流の深まり、諸科学・産業との共同研究への発展等につなげていくための計画が検討されているか。</li></ul>

予 算	<p>⑤ 支援の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 他事業からの支援状況等も踏まえ、本委託事業による支援が真に必要とされているか。</li> </ul> <p>⑥ 申請経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 計上されている経費は適正であるか。</li> </ul>
--------	---

### (3) 総合評価

上記の評定要素に関する評価を参考に、下表に基づいた総合評価を行う。

評点区分	評定基準
4	優れた提案であり、積極的に採択すべきである
3	優れた内容を含んでおり、採択すべきである
2	やや不十分な点があり、採択の優先度は低い
1	不十分な点があり、採択を見送ることが適当である

### 補足 1. AIMaPでの審査委員の選定についての申し合わせ

AIMaPにおいては

- (1)–(6) 協力12拠点の運営委員12名の半数の6名、
- (7) 企業からの運営委員5名のうち1名、
- (8) 幹事拠点(九大IMI)の運営委員1名

の計8名で採点を行う。

#### (1)–(6)

協力拠点からの審査委員の選び方は、12拠点を以下のAグループ、Bグループの2グループに分け、各グループが隔年で審査を担当する。初年度の取り決め通り、本年度(2019)はAグループの協力拠点の委員が審査し、第4年度(2020)にはBグループの委員が担当するものとする。

Aグループ (2019年度の審査を担当)

北大、筑波大、明大、理研、名大、阪大

Bグループ (2020年度の審査を担当)

東北大、東大、早大、統数研、京大、広大

(7) 企業からの審査委員1名

御名前の50音順に依頼し、ご承諾いただいた方をお願いする。各年度の終わりに、翌年の審査委員を50音順で次の方に依頼し、ご承諾いただいた方をお願いする。これを繰り返す。

※ 企業からの委員は、期間中、1年間だけ審査を担当する。

(8) 九大IMI

補足2. 2019年度公募・審査・選定スケジュール

以下の日程案を参考に今後日程調整を進める。

2019年 4月26日(金)～5月27日(月)	公募受付(電子申請)
5月30日(木)～6月10日(月)	審査
6月15日(土)(案)	
	2019年度第一回運営委員会開催、審査結果承認
6月18日(火)	採択結果通知
6月24日(月)	公募企画 開催開始

以上